

## DMTCのトレーニング | プロセス思考の意思決定マネジメント

災害対策で重要なことは、「どんな決断を下すのか」ではなく、「どうやって決断を下すのか」です。その意思決定プロセスを定め、自制心をもって運営することが災害対策の要です。

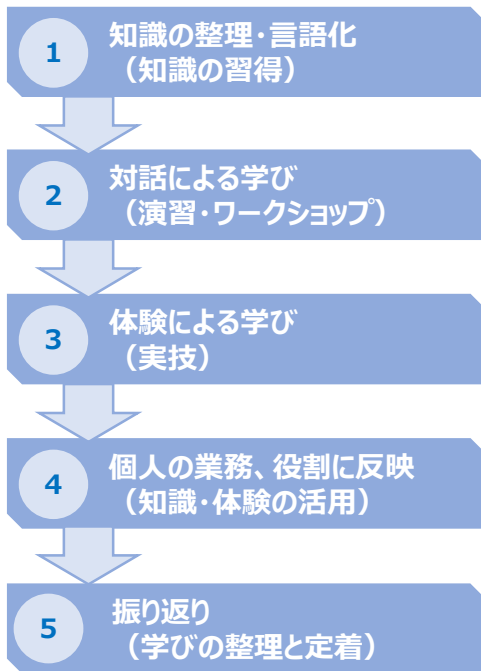
DMTCでは、プロセス思考の意思決定を習得してもらうために、知識を活かし、実際に災害が起こった時にどうすればよいかという行動の体験と実践により、組織を支え、リーダーとなれる人材を養成します。

## 育成する人材像

災害に対する事前対策から復興期にいたるまで、防災全般にわたる業務を体系的、実践的に把握し、様々な状況を先読みして考え、関連する人々や組織との連携や協働により、課題解決に向けた意思決定とマネジメントができる各組織のリーダーとなる人材

- **(論理性と判断力)** 災害対応を論理的に把握・思考し、迅速に判断・行動できる人材
- **(連携力と活用力)** 様々な組織・人々の能力・専門性を把握・活用し、協働できる人材
- **(先見性と戦略性)** 災害状況と対応の先を見通し、戦略的な対応力を身に付けた人材
- **(知識と創造)** 災害対応の知識を活かし、新たなアイデアを創造・実践できる人材

## トレーニングプログラムの流れ | 知識と体験の重層化



2018年8月2日から5日に実施した災害対応トレーニング@南伊豆町

2017年九州北部豪雨の朝倉市の災害対策本部



技術・システムの利活用



東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター/  
生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター  
**災害対策トレーニングセンター**  
**(DMTC)**

設立のご案内

## お問合せ先

東京大学生産技術研究所 災害対策トレーニングセンター  
電話番号 : 03-5452-6445 E-mail : numa@iis.u-tokyo.ac.jp



- 第1回 2018年11月27日-30日 (3泊4日) @南伊豆町
  - 第2回 2018年12月19日-21日@東京大学
  - 第3回 2019年2月12日-15日 (3泊4日) @南伊豆町
  - 第4回 2019年3月13日-15日@東京大学
- ※詳しい内容は、お問い合わせください。

**2018年度  
受講モニター募集**

## 設立趣旨



首都直下地震や南海トラフの巨大地震をはじめとして、現在発生が危惧されている大地震は、多くの人命をはじめ甚大な被害をもたらす。我が国の経済や産業のみならず、人々の暮らしや価値観、社会の在り様まで、大きな変化をもたらします。自然災害が頻発する我が国において、人命を守り、被害を軽減する防災は、国力を左右する国家的にも重要な施策です。しかし、現在の少子高齢化による人口減少や財政的な制約を考えれば、「公助」の拡充は望むべくもなく、国として「自助」と「共助」を進め、災害対策を担える優秀な人材を社会の様々なセクターに配置することが求められています。

我が国では、これまでも一般の国民から政府まで、災害に対する様々な訓練や対策を行ってきました。しかし、2016年の熊本地震においても、自治体から住民までが、「混乱」や「機能不全」に陥り、十分に対応できない状況が各所で発生しました。これは、都道府県や政府、中央省庁においても同様で、未だ改善の余地が大きいと言えます。

このような状況を踏まえ、市町村、都道府県、国の行政職員をはじめ、国民各層の災害対応能力を高めるため、体系的かつ実践的な教育訓練センター「災害対策トレーニングセンター」を開設いたしました。

教育訓練にあたっては、東京大学生産技術研究所及び東京大学大学院 情報学環を中心に、関係機関や学部、研究室及び一般財団法人生産技術研究奨励会の研究会に所属する企業各社が協働し、我が国に適した具体的な災害対応訓練及び教育システムの標準化を研究、開発、提供します。同時に、災害対応に関わる最新の知見、技術を集積し、効率的な災害対応としてトレーニングに反映させ、国内外に提示する機関として運用を図ります。

将来的には、防災の優秀かつ実践的な人材の国際的な養成機関として、持続的な発展を遂げられるものとするとともに、人類を待ち受ける未来の様々な災害、困難な事象に対し、これを乗り越える知恵と技術を生み出せる人材を養成、輩出し、社会に貢献したいと考えています。

## Vision

### For Resilient Future

私たちは、人類が直面する自然災害に対し、個人と社会の災害対応力を養成、実装化することで、国や地域を超え、一人ひとりの命を支え合える未来の実現をめざします。

## Mission

### Change the Social Mind

私たちは、災害からより多くの人命を守り、社会の機能を継続させるために、災害対応に係る体系的かつ実践的なトレーニングを提供することで、社会を支える一人ひとりの取組、意識に変化を起し、持続可能な社会に寄与できる人材を養成します。

## 事業方針

### For all Students

人々が災害時に求める必要な知識、スキル、ノウハウを実践的なトレーニングで習得できるよう、災害対応及び研修・教育の研究を進め、その成果を新しい教育サービスとして、社会に提供します。

## 7 value

### 私たちが大切にしている7つのこと

PRIORITY
SPEEDY
RESEARCH
PLATFORM
OPEN INNOVATION
UPDATE
SUSTAINABLE

1. より多くの人命を守ることを最優先に
2. 危機感を持って迅速に
3. 研究を怠らず、トレーニングを進化
4. 未来を洞察し、知の概念を具体化、標準化、国際展開
5. オープンイノベーションを誘発し、リソースを循環
6. 評価と検証を怠らず、チャレンジとチェンジを連鎖
7. ソーシャルソリューションとして最適な事業運営

## 代表者



センター長  
目黒 公郎  
東京大学教授



副センター長  
沼田 宗純  
東京大学准教授



顧問  
伊藤 哲朗  
東京大学客員教授  
第12代内閣危機管理監、第85代警視總監

## 関係機関



## 事業概要

- センター名称；  
(和文名称) 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター/ 生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター 災害対策トレーニングセンター  
(英文名称) Disaster Management Training Center, CIDIR, III/ ICUS, IIS, The University of Tokyo.  
(略称) 災害対策トレーニングセンター (DMTC)
- 実施主体； 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター/ 生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター内に位置づける災害対策トレーニングセンターとし、沼田研究室が中心となり、事業運営にあたる。
- 事業内容； 災害時に必要な知識、スキル、ノウハウを体系的かつ実践的なトレーニングで習得できる研修プログラムを有償で提供
- 実施場所； 東京大学 駒場キャンパス、サテライト拠点 (南伊豆町)
- 実施時期； 2019年度より実施
- 対象者； 行政、公的機関の職員、企業、NPO/NGO、地域防災リーダー

